

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 7月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3470204649
法人名	平和会
事業所名	グループホームさつき
所在地	広島市佐伯区五月が丘5丁目2番3号 (電 話) 082-941-7088
評価機関名	特定非営利活動法人西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南四丁目46番9号
訪問調査日	平成19年7月18日

【情報提供票より】

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 6 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 13 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4 階建ての 2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 ~ 46,500 円	その他の経費(月額)	22,400 ~ 24,800 円
敷 金			
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	200 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1300 円		

(4) 利用者の概要(7月18日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16名
要介護1	3 名	要介護2	9 名		
要介護3	6 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低 73 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人サツキ会津元クリニック 岡田歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑豊かな五月が丘団地のメインストリートに位置した当グループホームは、設立当初から地域にとけ込み、家庭的な雰囲気の中で地域の行事(夏まつり、盆おどり、お祭り、とんど、ふれあいサロン)の参加と、地域との交流を図り、地域に信頼されるホームづくりがされ、母体の特別養護老人ホームと共に団地の福祉の向上に努められている。入居者一人ひとりの思い、生きかたを尊重し安らぎのサポートがされており、質の高い介護が提供されているグループホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員はさつきの理念を普段の生活を通して考え方、思いを共有されており、介護における取組む姿勢に生かされている。このチームワークを質の高い介護を提供する為に全員ミーティングをされることを期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	評価のねらいについて管理者、職員は十分話し合い、全員で自己評価に取り組まれケアの向上に努められているので、これからも継続されることを期待します。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議では社協、老人会、ボランティア、包括支援センター、あゆみの会の方の出席がありプロジェクターを放映しホームの状況、活動内容を理解してもらい、参加者からの意見を聞き充実した会議をされている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	日ごろから家族が訪問時に何でも話しやすい雰囲気づくりに留意され、状況を細かく話し、要望に反映されている。毎月一人ひとりに便りを送られ、様子を伝え家族はホームに要望を伝え運営に反映されている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域にとけこんだグループホームで地域と共にその人らしく生活ができる環境は地元には素晴らしい社会資源があり、提携医、商店街などのつながりは、共に挨拶をし、声かけができ、日常の生活が普通に過ごせる恵まれた地域です。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	さつきの理念である地域にとけこみ入居者の意志を尊重し、質の高い介護を提供し、地域と共に自然に暮らせる安心した生活が送れることがつくられている		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員で入居者がその人らしく暮らせるよう、やさしい言葉かけ、介護の姿勢、詳細な記録に理念が反映されており、日々取り組まれている。	○	理念について話し合いはされているが、定期的な全員ミーティングをもたれることを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入り、行事に参加され日々の生活で外出、買い物に出かけ、挨拶を交わし、近隣でのふれあう姿は多くあり交流もされている。月に一回の、ふれあいサロンに(5～8人)参加し地域の夏祭り、盆踊り、祭り、とんどんに参加されている。ボランティアの方の音楽、歌、踊りなど地域とのコミュニケーションが図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価のねらいについて職員は、理解され改善点など職場全体で、改善される取組みがされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では地域の老人会、民生委員、社協、あゆみの会、包括支援センターなどの参加があり、さつきの状況や、活動を理解されるために、プロジェクターの映像に合わせて説明し現在の取組み、内容について報告し話し合われている。		

グループホームさつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催の研修に参加、ネットワーク会議で連携をとられており、問題があれば相談をされている。社協からのボランティアの受け入れをされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会は年2回行われて参加者も多く、プロジェクターの映像で入居者の様子をみられホームの状況を説明されている。毎月一人ひとりに手紙で、きめ細かく様子を伝えるように便りをだされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には、なんでも話してもらえる雰囲気づくりに留意されている。要望や意見があれば職員全員で改善し、質の向上を目指す取組みがされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動が入居者へ不安を少なくするため、引継ぎをしっかりと行い、入居者の安心した生活が送られるよう取り組まれている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に職員研修をされており、出向いて行くのではなく、職員のスーパーアドバイザーである経験豊かなケアマネジャーによる指導や助言は働きながら学べるホームである。研修生の受け入れも多くされ、指導をされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区内のネットワークづくりで同業者との交流があり、サービスの質の向上を目指し意見を生かしている。		

グループホームさつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者の残存能力を生かされるためにも家族としっかり話し合い、安心して納得されサービスを利用できる支援の工夫がされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で入居者の言葉から分かり合えることを探し一人ひとりの喜び、不安をわかり合い入居者との関わりの関係をもたれている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で入居者の気分の良いとき、それとなく表情や行動をみながら情報を得られている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族には日ごろの生活の中でその人らしく暮らせるように要望を聞き全職員で状況を報告し話しあった上で納得、了解を得て検討し見直しがされている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者、家族の意向や要望を聞き変化があった場合即見直しをされている。		

グループホームさつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の意向や要望を聞き変化があった場合即見直しをされている。要望に向き合い暮らし継続を守るためのケアがされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の希望される医療機関の支援をされている。提携医療機関の夜間対応、往診もあり、通院介助もされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居される時には十分な終末期のケアのあり方を説明されホームの方針を伝えられている。	○	状態の変化があった場合、入居者、家族の意見を聞き主治医と家族にホームが対応できる方針を伝え、他の医療機関の支援につなげている。今後、ターミナルケアをされることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録などの個人情報の保護を徹底されている。言葉かけにはプライバシーに気をつけた対応がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のホームの流れはあるが入居者一人ひとりのペースに合わせ、その人に添った生活が送られており、それを見守る支援がされている。		

グループホームさつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備もできるだけ手伝ってもらい一緒に取り組まれている。職員は弁当ではなく同じ物を食べて一緒に楽しい雰囲気づくりを大切にされている。		
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日されているが、入居者の希望により一人ひとりに合わせた支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人らしくその人の能力を引き出す支援がされている。料理 巻き寿司づくり 音楽、映画、書道、茶道など経験や知恵を発揮される場面づくりは、日々のケアのあり方にもつながっている。		
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の好きな人が多く買い物、ドライブと定期的に行かれている。近くの公園などにも散歩され支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者が外出されそうになることもあり、声かけをして理解をもとめられている。	○	入り口がオートロックになっており家族に了解を得て安全面に配慮された見守りがされているが地域との連携をより深め、鍵をかけない工夫や努力を期待します。
27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に二回、防災訓練が行われている。地域の協力もあり、母体の特養施設からの協力体制もとられている。		

グループホームさつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、水分、おやつなど、きめ細かく記録され職員はすべて摂取状況を把握し共有されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングはゆったりとしており、ソファ、テーブル、長いす、などが置かれている。壁には入居者のみなさんの千羽鶴、習字、手芸があり仲間同士でくつろげるスペースがあり季節を感じる配慮もされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれ入居者の馴染みの家具が置かれ居室の壁の色もその部屋に合った内装がされている。		